



## 楽しい学校

### 将来は小学校の先生になりたい

伊藤 瑠香さん（居小6年 実郷）

昨年10月から後期児童会長をしています。母と叔父が生徒会長をしていた話を聞いて興味を持ち、立候補しました。前児童会長の姿に憧れ、私も楽しい学校にしたいと思い活動しています。また、児童会長として、みんなの手本となる学校生活を送るように心掛けています。

児童会では、中休み時間に行う全校ゲームの「だるまさんがころんだ」を企画しました。これからもみんなが楽しめる行事を企画したいです。

好きな授業は算数で、中学1年生の数学の予習をがんばっています。将来の夢は、尊敬する居小の先生方のような小学校の先生になりたいです。

## 人いきいき

### 消防団員として町を守った41年

竹澤 哲郎さん（東町 66歳）

令和5年秋の褒章で、北見地区消防組合訓子府消防団前副団長の竹澤さんが、藍綬褒章を受章しました。「今回の受章は、諸先輩方や消防団の仲間をはじめ、多くの関係者のおかげです。活動を支えてくれた家族には感謝しています」と受章の喜びを話していました。

竹澤さんは、昭和57年4月に訓子府消防団に入団し、令和元年12月から副団長を務め、令和5年11月30日に退団。41年間の長きにわたり、消防団員として町民の安全確保、財産を守るため活躍されました。

「消防団には、同じ町内会の先輩が退団するに当たり、勧められて入団しました。叔父が団員だったこともあり、消防団は身近な存在でした。消防団の活動を振り返ると、夜通しで消火活動に当たり、鎮火に長時間かかった火災現場や厳寒期の消火活動などが特に印象に残っています。消火活動の際は常に冷静に判断して行動すること、けがに注意することを心掛けました」

「日々の訓練の積み重ねが現場での基本であり、消火活動にも活かされています。訓練の際、先輩方から具体的に消火方法を学んだことは、貴重な経験となりました。また、日ごろから団員や職員との交流を通して、チームワークを大切にしながら活動してきました」

「昨年11月末で消防団を退団しましたが、団員の皆さんにはこれからも日々の訓練に積極的に参加することを心掛けてほしいです。『自分の町は自分たちで守る』という意識が安心安全な町づくりにつながることを忘れず、これからも柴田団長を中心にがんばってほしいですね」



## 短歌 訓子府短歌会

オリオンの上に煌めく昂見ゆ  
彼の名曲を口ずさみつつ  
西 富 山本 祐一

柿の木に登りし熊が俄か増す  
人里の味柿のうまさよ  
日 出 山内スミエ

啄木の短歌を刻みし碑は  
湖畔にありて雄阿寒を見ゆ  
旭 町 瀬谷 隆夫

刈り取るか取らぬか秋桜五六輪  
末枯れても尚紅き色持つ  
東 幸 町 吉野 良華

あるがまま洗ひざらしの割烹着  
老いたる母もボツンと一軒家  
東 幸 町 中島 玲子

エゾシカはどうきび薯は好むとも  
大根食はぬは辛かりけるか  
大 谷 昆野 範雄

切々と郷愁詠みし飯田氏の  
胸打つ短歌ふれて涙す  
大 町 佐藤 幸子

のび盛り幼き孫の描かく絵は  
居間の一番目立つ処へ  
西 幸 町 乃里子

収穫は種類豊富よ秋野菜  
室に貯へ冬を待つのみ  
清 住 太田 豊

## — 表紙から —

### 朝日のように明るい1年を

末広町で撮影した「朝日」の写真です。  
明けましておめでとうございます。  
令和6年、新年を迎えました。皆さんにとって今年も  
明るく良い1年になりますようお祈り申し上げます。

